

令和5年度 第2回さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会 議事録

1 期 日 令和5年10月20日（金）

2 場 所 さいたま市立教育研究所 2階 第2研修室

3 開 会 13時30分

4 出席者

委員

さいたま市ボーイスカウト協議会理事	宇田川 充
さいたま市PTA協議会理事	鈴木 崇晃
市民公募	廣澤 宣明
小学校校長会 河合小学校長	宮本 江津子
小学校校長会 浦和大里小校長	中野 緑
中学校校長会 美園中学校長	小田切 倫子
中学校校長会 第二東中学校長	坂東 千里

事務局

館岩少年自然の家所長	新堀 栄
館岩少年自然の家所長補佐兼管理係長	平野 守
館岩少年自然の家主席指導主事兼指導係長	葛西 耕輔
館岩少年自然の家主任指導主事	塚本 展寛
館岩少年自然の家主任指導主事	那須 菜摘女
館岩少年自然の家主任指導主事	吉見 康之
館岩少年自然の家指導主事	佐藤 泉

5 欠席者

小学校校長会 大宮北小学校長	渡辺 明
さいたま市PTA協議会会長	郡島 典幸
市民公募	佐藤 貴洋

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者数 なし

8 次 第

(1) 第2回 さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会

【議題】

- ①令和5年度「自然の教室」(夏季)実施状況について
- ②令和5年度予算(歳入・歳出)について
- ③令和5年度館岩少年自然の家運営委員会視察会の報告について
- ④中規模修繕工事の進捗について
- ⑤その他(報告等)

9 議事等の概要

【運営委員会関連条例、規則等】

平野 補佐 ○欠席・遅参委員の報告、資料確認、会議の成立、会議の公開

【所長あいさつ】

新堀 所長 ○令和5年度「自然の教室」(夏季・前期)実施状況について
○運営委員会視察の御礼について

以下、廣澤宣明委員長が議長として議事進行

【協 議】

議題(1) 令和5年度「自然の教室」(夏季)実施状況について

指導係 塚本 ○資料①令和5年度「自然の教室」(夏季)実施状況の説明

<質問、意見なし>

議題(2) 令和5年度予算について(歳入・歳出)について

平野 補佐 ○資料②令和5年度予算について(歳入)の説明
○資料③令和5年度予算について(歳出)の説明

<質問、意見>

中野 委員 予算について、消耗品費が20%しか使用していないが、予算が多いのか。

平野 補佐 これから執行していく。多いわけではない。

議題(3) 令和5年度館岩少年自然の家運営委員会視察会の報告について

平野 補佐 ○資料④令和5年度館岩少年自然の家運営委員会視察会報告の説明

<質問、意見なし>

議題(4) 中規模修繕工事の進捗について

平野 補佐 ○資料⑤中規模修繕工事の進捗の説明

<質問、意見>

中野 委員 4月からの登山整備で、新年度からの学校対応に間に合うのか。

新堀 所長 全く行っていないわけではなく、現在、会計年度任用職員が登山道の整備を進めている。
今は、登山口、下山口を中心に整備を進めている。

坂東 委員 野外トイレにウォシュレットは設置されるか。
自然の教室の感染症対策はどのように進めているのか。

新堀 所長 野外トイレにウォシュレットは設置されない。
中規模修繕工事で新たに空気を入れ替える設備を設置している。
先週、実施した学校が帰校後、学年閉鎖となっている学校もある。体調不良の児童は、無理に参加させないことを徹底してもらいたい。

廣澤 委員長 温泉の1・2号とあるが、温泉がブレンドされているのか。

平野 補佐 どちらの源泉も同じタンクに流れ、そこからとくさ館・からまつ館へ汲み上げられている。

議題（5） 令和5年度「親子ふれあいの集いin南会津」事業報告について

指導係 塚本 ○資料⑥令和5年度「親子ふれあいの集いin南会津」事業報告についての説明

<質問、意見>

中野 委員 何家族受け入れられる予定だったのか。

指導係 塚本 10家族としていた。来年度は、指導係の対応も考えた上で受け入れ数については検討していきたい。

【意見交換等】

廣澤 委員長 館岩へはこれまで4回行ったが、やっぱりとても良い所だと改めて感じた。山の天気が変わりやすいなど、さいたま市では経験できない。バスで片道4時間という時間は、バスレクを行うにしても丁度良い時間だと思う。
今年度までは、「たかつえ」と「南郷」に分かれて自然の教室を行っているが、それは、館岩少年自然の家が中規模修繕を行っているからだということの理解が必要だと思う。子どもたちが大人になり振り返った時に、兄弟によっては差異が生じる。
川魚つかみは、以前館岩で行っていた時には川から掴んでいたが、館岩に自然の教室が戻ったら行えるのか。

指導係 塚本 6月～9月実施校においては体験可能である。

- 宇田川 委員 視察会で初めての参加だったので子どもたちの顔をよく見ていた。子どもたちはみんな生き生きしていた。とても良い経験ができていると感じた。保護者とだけでは体験できないことだと感じた。
- 指導係 塚本 今年度、火を使った炊飯を行っているのか。とても貴重な体験であると感じた。
プログラム上で野外炊飯を実施した学校は、32%。約3割の学校が行っている。
- 宮本 委員 バスの移動時間が長いので今年度よりバスレクを解禁した。発達段階に応じたレクを行い、楽しく過ごすことができた。
本校では、子どもたちに館岩少年自然の家が中規模修繕中なので南郷に行くことを話している。子どもたちは、館岩少年自然の家に行ったことがないので理解できていない子どももいると思う。
- 小田切 委員 入所人数のその他についてはどういった方なのか。
今後、LGBTQなど個別の配慮が必要な児童生徒が増えることが予想される。
コロナが明けて、子どもたちにとって体験・経験がいかに大切かを再確認した。
- 指導係 塚本 その他にあてはまるのは、現地研修に参加した教員、自然の教室において個別の対応によって保護者が宿泊した人数を記載している。
自然の家として、個別の配慮が必要な児童生徒に対して、できる範囲で柔軟に対応していきたい。
- 坂東 委員 医療機関について、搬送体制など新しい医療機関はできるか。
今後、計画や対策はあるか。
- 係長 葛西 新しく医療機関ができる予定はない。現状は、タクシーで搬送するのが基本である。
- 中野 委員 自然の教室の実施時期については、どのように決めているのか。
- 係長 葛西 学校を4つのグループに分けている。2年連続で同じ時期が続かないようにずらして時期を決定している。
- 廣澤 委員 親子ふれあいの集いの募集について、市報には載せているのか。
また、さいたま市立の小・中学校に通学している子が対象か。埼玉大学付属や東京の私立に通っている児童は対象外か。
- 指導係 塚本 市報へは載せていない。各学校へ手紙で周知した。参加対象については、今後検討していきたい。

10 事務局より

- 平野 補佐 ○次回以降の予定を伝達

11 閉 会 14時30分